

静岡北ロータリークラブ

SHIZUOKA NORTH ROTARY CLUB

WEEKLY BULLETIN

持続可能なインパクトを生み出そう

例会日：毎週火曜日 12:30～13:30
例会場：ホテルアソシア静岡 TEL.054-254-4141
事務所：〒420-0853 静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザマビル5F
TEL.054-254-5611 FAX.054-221-0515
◆http://shizuoka-north-rc.jp/ ◆E-mail : shizuoka-rc@mail.wbs.ne.jp

会長 北上 紘生

会長 ◆北上 紘生

副会長 ◆鈴木 勉

幹事 ◆赤石 光裕

副幹事 ◆奥村 聡

2026-27年度 RI会長 オラインカ・ハキーム・ババロラ / CREATE LASTING IMPACT

2026年9月1日 [火] 第1617回例会 天候：☀

司会進行

赤石 光裕幹事

開会点鐘

北上 紘生会長

ロータリーソング

小林 勇貴会員

「君が代」「奉仕の理想」

ビジター紹介

杉山 義郎会員

米山奨学生 ベルリアン様
RI第2620地区 奉仕活動委員会
職業奉仕担当 副委員長 奥川 幹雄様 (島田RC)
奉仕活動委員会 委員 清水 剛様 (浜松東RC)

出席報告

杉山 義郎会員

月 日	会員数	出席数	欠席数	メイクアップ	改正出席率
8/4	29 (27)	19名	8名	0名	79.37%
8/18	29 (27)	18名	9名	—	—
9/1	29 (27)	17名	10名	—	—

〈市内RC 10月例会変更〉

日 付	クラブ	場所／時間
15日(木)	静岡 東	ホテルアソシア静岡 11:30～12:30
21日(水)	静岡 西	グランヒルズ静岡 11:30～12:30
22日(木)	静岡 東	ホテルアソシア静岡 11:30～12:30
23日(金)	静岡日本平	ホテルアソシア静岡 11:30～12:30
26日(月)	静岡	グランディエールブテークイ 11:30～12:30
29日(木)	静岡 東	ホテルアソシア静岡 11:30～12:30

会長挨拶

北上 紘生会長

8月27日、インフォームドグループミーティングが開催されました。第1グループ5人、第2グループ3人、第3グループ3人の会員が参加していただきました。今回は、インフォームドグループミーティングにおいて話題があったことについていくつか触れたいと思います。

オーストラリアにおいてもロータリーの会員は減少傾向にあるようです。30代～40代といったロータリーの会員になってほしい方々はロータリーには入らず、ビジネスにつながることに特化した団体に所属する方が多い傾向にあるようです。

静岡でも同様の動きがあり、会員の拡大が顕著なのは、BNIや静岡イノベーションベースといった組織が会員を拡大しているようです。ある会員からは時間や金銭を社会貢献活動に費やすことを厭わない人が主なターゲットになるのではないかとこの意見がありました。理想としては御殿場ロータリークラブのような地域においてロータリークラブに加入していることが社会的ステータスとなり入会待ちの方いるような団体となることだとの意見もありました。

ロータリークラブに入って人と人をつなぐことに自分の仕事とは異なるやりがいを感じました。このクラブを通じて様々な人と出会い、人を紹介したりつないだりすることで仕事や奉仕活動、社会を動かす活動になることを教えてもらった、今のところ私が説明できるこのクラブに入ってよかったことになります。もう少し言語化できるように日々精進していきたいと思います。



本日の例会案内

(第1618回例会)

9月8日(火)

ゲスト卓話

次のプログラム

9月15日(火)

ゲスト卓話

委員会報告

ロータリー財団委員会 青木 丈洋委員長

・「会社deワクチン」のご案内。

趣味同好会委員会 杉山 直委員

・静岡北RC親睦旅行・バルセルナ国際大会のご案内。

趣味同好会委員会 森崎 和敏会員

・静岡北RC親睦ゴルフコンペのご案内

日時場所：9月19日(土)・東富士カントリークラブ

ゲスト卓話

国際奉仕を身近に

RI第2620地区 奉仕活動委員会

委員 清水 剛様

(浜松東RC)



本日も伝えたいこと

① 国際奉仕を「交流」から「課題解決」へ

② 第2620地区のグローバル補助金と具体事例

③ 「基本的教育と識字率向上」への取組み

④ 第3820地区との友情交換から共同奉仕へ

⑤ クラブから始める国際奉仕の第一歩

⑥ 島田ロータリークラブの実例紹介

国際奉仕とは何かーロータリーらしさは「つなぐ力」

● 海外へ寄付することだけが国際奉仕ではない

● 現地ロータリアン・行政・学校・医療機関などと課題を共有し、共に解決する

● ロータリアンの職業経験、専門知識、人脈も重要な奉仕資源

● 交流で生まれた信頼関係が、共同奉仕・補助金事業の土台になる

● 地区の役割は、クラブ・海外地区・ロータリー財団・専門家を結び付けること

「交流する」→「つながる」→「課題を知る」→「共に解決する」

幹事報告

赤石 光裕幹事

・地区大会のご案内。

・次週、例会終了後、役員・理事会を開催します。

おめでとう

赤石 光裕幹事

誕生日／9月6日

寺岡 正人会員

スマイル

坂口 修成会員

■北上 紘生会長 ■赤石 光裕幹事

清水様・奥川様、ようこそ静岡北RCへお越し下さいました。

本日は卓話、宜しくお願い致します。

■戸崎 博隆会員

先日の母、智津子の通夜・葬儀に際しまして、弔問・ご焼香を頂きまして、有難うございました。又、ご香資や北RCの生花を賜りまして誠にありがとうございました。当日は、お礼もできずに申し訳ありませんでした。

ロータリーの7つの重点分野

① 平和構築と紛争予防

② 疾病予防と治療

③ 水と衛生

④ 母子の健康

⑤ 基本的教育と識字率向上

⑥ 地域社会の経済発展

⑦ 環境

ロータリーの重点分野

グローバル補助金では、重点分野との整合だけでなく「地域ニーズ・持続可能性・測定可能な成果」が重要

グローバル補助金 (GlobalGrant)ー「寄贈」から「持続する変化」へ

● ロータリー財団が支援する大規模な国際活動。最低事業規模は30,000米ドル

● 人道的プロジェクト、大学院レベルの奨学金などが対象

● 実施国側と援助国側がパートナーとなり、地域社会のニーズに基づいて計画

● 申請前の地域社会調査、明確な目標、成果測定、事業後の継続性が重視される

● DDF (地区財団活動資金) には、世界基金から80%の上乗せが行われる仕組みがある【ポイント】『何を贈るか』より『誰の、どんな課題が、どう改善し続けるか』

第2620地区での国際奉仕

事例:フィリピン・ラグーナ州の地域医療を支える

【実施】静岡RC × フィリピン・ラグーナベルエアールRC

【対象】サンタローザ・コミュニティ病院 (公立医療施設)

【背景】サンタローザ市18のバランガイと周辺地域の住民を支える地域医療拠点

【事業】光線療法機器等の医療機器整備を通じ、地域医療の質向上を支援

【学ぶ点】現地クラブがニーズを把握し、日本側クラブと財団制度を組み合わせて実現

→ 国際奉仕は『日本から物を送る』ではなく『現地と一緒に仕組みをつくる』こと

→ 地区には『資金』『制度』『海外との接点』がある。クラブはそこへ課題とアイデアを持ち込める

閉会点鐘

北上 紘生会長

[担当:大橋(利)]